



平成30年5月11日

各位

会社名 アイサンテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤 淳
(コード: 4667、東証JQ)
問合せ先 経営企画室長 曾我 泰典
(TEL. 052-950-7500)

通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成29年5月12日に開示した平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 平成30年3月期通期連結業績予想値と実績値の差異

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	3,800	380	370	225	43.21
今回修正予想(B)	4,332	352	348	238	45.57
増減額(B-A)	532	▲27	▲21	13	
増減率(%)	14.0	▲7.3	▲5.8	6.1	
(参考)前期連結実績 (平成29年3月期)	3,236	334	315	272	57.62

2. 差異の理由

平成30年3月期第3四半期決算短信等でも記載しておりました通り、当連結会計年度において、G空間ソリューション事業において大型案件の受注を計上したほか、自動走行実証実験に関連するシステムの販売、請負業務の受注等、自動運転のレベル4の実証実験が可能な企業として注目を浴びる中、計画を上回る実績を計上しました。

当社の収益の柱である自社開発ソフトウェア販売は、主力製品「Wingneoシリーズ」における最新バージョンとなる「Wingneo INFINITY Ver.8」のリリースを本年3月に行いました。旧製品をご利用いただきありがとうございますお客様へのバージョンアップの施策を投入し、多様な提案活動を行うなど販売活動の強化に努めた中、測量・不動産登記業に携わるお客様の業務の生産性を革新的に向上させる新たなオプション製品の商戦期へのリリースの遅延により計画を下回りました。一方、新たにリリースしました三次元点群処理ソフトウェア「WingEarth(ウィングアース)」は発売当初より市場から高い評価を頂戴し、かつ、新規商流に係る販売展開も活性化する等、今期以降に向けた明るい材料としております。

また、これまで懸念事項であった当社グループにおける販売・開発部門での人員不足に対する体制強化を目的とした、人員補強の実施とともに、今後の成長のための投資を行った結果、人件費及び減価償却費用が当初の計画を上回る結果となりました。これらは、当連結会計年度での利益貢献には至りませんでした。中期的に当社グループの利益に還元されてくるものです。

以上の結果、売上高は前回公表時の予想を大幅に上回ることとなった一方、営業利益、経常利益は前回公表時の予想を下回ることとなりました。

以上